

「茅葺き屋根を守る」

長野県建設労連では、伝統技能を次世代へ継承するため、県や内外関係者とタイアップし、中堅大工を対象とした「信州職人学校・伝統大工コース」を、2009年より開講しています。

このコースは、信州の歴史と風土をふまえ、建築大工としての伝統的技量の向上を図るとともに、現代の多様なニーズの中で新たな仕事分野を開拓しうる能力の育成をめざします。

この公開講座は、通常の授業では盛り込めない内容をテーマに、受講生への座学を兼ねて、一般市民も参加できるオープンセミナーとして年数回あり、今回が今年度最後の開催になります。

今回は、「茅葺き屋根を守る」と題し、北安曇郡小谷村において親子で茅葺き職人をされている、松澤敬夫氏、松澤朋典氏をお招きして公開講座を行います。

現在、茅葺き屋根の家屋が減少し、それに伴い屋根の葺き替えや、手入れをすることができる茅葺き職人も少なくなり、技術の衰退も懸念されている中、日本独特の文化である茅葺き屋根の良さを、後世に残していくための取組みを熱心にされている両氏を迎え、茅葺きの基礎知識、実際の茅葺き作業の様子、技能継承の取組みについて、語っていただきます。

今では、貴重な存在となった茅葺き職人から話が聞けるまたとない機会です。関心をお持ちの若手・中堅職人、事業主、市民、学生など、多くの方々のふるっての参加をお待ちしています。

日 時：2012年11月10日(土) 10:40~12:10

会 場：建労会館3F 大会議室(松本市宮淵本村1-2)

受講料：無料 定 員：50名(定員になり次第締切)

講 師：松澤 敬夫 氏 松澤 朋典 氏(株式会社 小谷屋根)

【まつざわ・けいお】1942(昭和17)年、長野県生まれ。中学卒業後、父が経営する松澤屋根店に弟子入り(兄弟子が4人、父の最後の弟子となる)。当時、村内にいた11人の親方から、指名されるほどの存在になる。昭和39年から2年間、建築板金を覚えるため、東京の工務店で修業。昭和42年、小谷村に戻り「小谷屋根」として独立。板金、茅葺きの2本立てで、地域からの信頼を得る。仕事は村内に限らず、県内外へも赴く。持ち前の技術は、同業者からも高く評価されている。一方で、日本が生み出した茅葺き屋根を知ってもらうため、各地の小中学校や大学へ行き、ワークショップやイベントの計画を立て、ボランティアで指導や説明を行っている。建築板金基幹技能者、1級建築板金技能士等、多数の資格を持つ。平成21年、長野県卓越技能者知事表彰を受賞。現在、伊勢神宮式年遷宮の工事に指導的立場として携わっているため、三重県伊勢市に出勤中。



【まつざわ・ともりのり】1979(昭和54)年、長野県生まれ。東京で現場監督業を3年半就業後、家業の茅葺きを受け継ぐべく、父・松澤敬夫氏の元へ弟子入り。昨年、会社設立と同時に代表取締役へ就任。文化財を中心に一般住宅や社寺等を手がける。3代目として伝統技術の継承に力を入れる。父・松澤敬夫氏は、現在伊勢神宮の遷宮に向けて4年間の出勤中のため、若手後継者4人を抱えて日々修行の道を歩む。現在、大町市旧中村家住宅(国指定重要文化財)修復にあたっている。

【主な仕事】名勝田毎の月嬭捨山長楽寺月見堂・観音堂(千曲市)、県宝光輪寺薬師堂(朝日村)、重要文化財横田家住宅(長野市)他、文化財修復多数。住宅、民家、社寺等の仕事も多数。



県宝 霊松寺山門(大町市)



旧鈴木家(群馬県沼田市重要文化財)



牛方宿(小谷村)

申込方法：別紙申込用紙に必要事項を記入の上、11月7日(水)までに FAXにてお申込下さい。

主催(問合せ・申込み先)：長野県建設労連/伝統建築技能継承事業運営委員会

〒390-0864 松本市宮淵本村1-2 建労会館内長野県建設労働組合連合会

TEL 0263(39)7200 FAX 0263(39)7202 担当：宮川、矢ヶ崎、吉田

FAX 0263-39-7202

長野県建設労働組合連合会 / 伝統建築技能継承事業運営委員会宛
担当 / 宮川、矢ヶ崎、吉田

信州職人学校第 18 回公開講座 受講申込用紙

講師：松澤 敬夫 氏 松澤 朋典 氏（株式会社 小谷屋根）
演題：「茅葺き屋根を守る」

日 時：2012 年 11 月 10 日（土）10 時 40 分～12 時 10 分

会 場：建労会館 3F 大会議室（松本市宮淵本村 1 - 2）

受講料：無料

締 切：受講申込みの締め切りは 2012 年 11 月 7 日（水）

）上記に関わらず、定員（50 名）に達し次第締め切りとなります。

申込者氏名		
組合名 <small>組合に所属し ていれば記入</small>		
連絡先	事業所名	
	住所	〒
	TEL	
	FAX	
	E-mail	
要望など		